

平成30年度 とまとのプール 放課後等デイサービス自己評価

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		1ルームに多くいる時があるが、訓練室を分け、4人で対応している
	2 職員の配置数は適切であるか	○			開所用件以上を満たしており、職員も適切に関わり易くするため、部屋を分けて対応している
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	棚や欄等手すりの変わりになる物を配置はしている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	○			施設会議、ミーティング等を使って職員参加を促している
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	日頃から電話等で密に連絡を取っている
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	ホームページを作成中で自己評価を公開する予定
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		社労士さんやトレーナーの方にも入って頂き、更に相談員にもアドバイザーとして評価して頂いている
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修委員会を立ち上げている
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎回モニタリングの際には訪問、又は電話などで保護者と話しながら計画を考えている
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシート、個別支援、障害児等利用計画等
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		活動プログラムはスタッフ全員で考えている
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		児童によっては活動内容を落ち着くルーティンにしているため、あえて固定化させている部分もある
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々のプログラムや時間が長いからこそできることを職員や保護者と話し合っている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			部屋分けと集団を両立しながら適切に組み合わせさせている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		支援開始前のミーティングで話し合いをしている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員で本日、気になった児童等を話し、グループlineなどでも共有。当日出来ない時は翌日の昼のミーティングで話している
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		つけている児童とつけていない児童がいるが個別プログラムの児童に対してはつけている
	18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			訪問、又は電話で必ず母親、父親と話している
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			家庭にフィードバック出来る支援を探しながら関わっている

関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			基本的に施設長、又は主任が参加している
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校にも施設の連絡先を渡しており、何かあればすぐに連絡が取れるようにしている
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		まだ経験がないが、相談員、重心身の施設とも関わりを持ち、知識としては入れようとしている
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保育園訪問などとして実際に観にしている
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談員等を通して、今までの様子を事業所に伝える様に話している
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修員会を通して行っていく予定
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			毎回予定を調整して参加している
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際に保護者とお話をさせて頂き、難しい場合は電話で対応している
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			○	話し合いは行い、保護者様にも考えて頂けるように促している。トレーニングの仕方を研修にて学んでいく
保護者への説明責任	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に運営規定や利用者負担のお話はさせて頂き、モニタリングや個別支援で支援内容のお話はさせて頂いている
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			施設長だけでなく、子育て経験がある職員にも協力してもらいながら助言、支援を行っている
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			事業所での保護者会を活用し、つながりをつくっている
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			基本的には連絡があった時にはその日のうちに施設長が連絡をし、解決に努めている
非常時等の対応	34 定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			説明付きでとまと便りを配っている。
	35 個人情報に十分注意しているか		○		書類の管理を鍵のついた所へ移動する
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			研修会などで知識を増やしていき、対応、配慮できるようにしている
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			書面を用意し、配布を行っている
	39 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎年、地震、火事の災害の練習を2回行っている
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待に関する研修に参加して対応や知識を増やしている
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			保護者から許可をもらえるように個別支援計画書に記載している
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメントの際にアレルギーがあるということであれば直ぐに調べて対応している
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			すぐに書けるように簡易にして行っている